

第1回
定例会

2014年度の摂津市予算や施策を決める議会。日本共産党議員団は、野口議員の代表質問、各常任委員会の議案審査を通じ、一貫して市民のくらしを守る市政を求めました。採決では、市長提案

の33議案のうち、一般会計予算案など8議案に反対。山崎議員が討論で問題点を指摘しました。議案は、すべて可決成立しましたが、今後も市政のチェックと公約実現に全力をつくします。

安倍政権の負担増.....約10兆円

消費税8%、医療・年金・介護など社会保障の改悪

1997年の消費税5%から17年。国民の貧困化が進み、年間所得は約70万円低下。また、貯蓄なしや年収200万円以下の世帯は増加しました。(右図)

そこに、安倍政権は消費税増税で8兆円、社会保障の改悪等で2兆円、合わせて10兆円の国民負担増を押しつけたのです。

	1997年(度)	現在
雇用者報酬	278兆円	248兆円
賃金(年額)	446万円	376.8万円
貯蓄なし世帯	10.2%	31%
年収200万円以下の民間給与所得者	814万人	1090万人
非正規雇用比率	23.2%	37.6%

4月から相次ぐ負担増...	
年金	
支給額	▶0.7%引き下げ(4月分~)
厚生年金保険料率(9月分~)	17.12%▶17.474%
医療	
70~74歳の医療費自己負担	1割▶2割(4月2日以降、70歳になる人)
介護	
40~64歳介護保険料率(協会けんぽ:3月分~)	1.55%▶1.72%

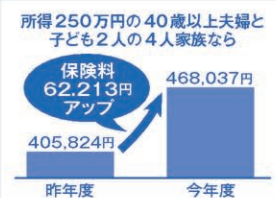
摂津市の負担増.....約2億8千万円

国民健康保険料の負担増

.....9,400万円

昨年、摂津市は約1億円の予算を増やして保険料の値上げを抑えましたが、今年度はその1億円を削減。国の低所得者対策で保険料が安くなる世帯もありますが、多くの加入者は値上げです。

今でも高い国保料。払いたくても払えない滞納者がさらに増えてまいります。



老人医療費助成制度の廃止

.....4,500万円

市民税非課税など一定の条件のもとで、高齢者の医療費を軽減する摂津市独自の制度。今回、完全に廃止することで、469人(2014年1月現在)の高齢者に重い医療負担を強いることになります。

上下水道料金の負担増

.....1億2,000万円

北摂で最も高い上下水道料金。昨年、一人暮らしの高齢者等の減免制度を廃止し、今回は、消費税増税分の値上げです。



学校給食費の負担増

.....2,200万円

消費税増税などによって食材費が上がるために、月500円、約15%の値上げです。

	旧月額給食費	2014年月額給食費
低学年(1・2年)	3,100円	3,600円
中学年(3・4年)	3,200円	3,700円
高学年(5・6年)	3,300円	3,800円

負担増をやめて
市民のくらしをまもる政治を!
これではくらしがたいへん



日本共産党

実現した



こども医療費助成 9月から小学校卒業まで拡大

妊婦健診 助成額の2倍化で実質無料に

就学援助金 支給額アップ

これまで摂津市に要求してきた子ども医療費助成の拡大。今年9月から通院医療費の助成対象が小学校卒業まで拡大されます。今回、拡大される小学生には、所得制限が設けられる(就学前までの通院、中学校卒業までの入院については従来とおり所得制限なし)ことから、申請手続きが必要となります。

また、中学校卒業までの拡大について、市長は「できるかぎり来年度に」と答弁。確実な実施と所得制限撤廃へ継続して働きかけていきます。

妊婦健診の実質無料化や就学援助金の支給額の増額も市民のみならずとの共同の運動の成果です。

くらし応援の摂津市政へ 日本共産党はこう考えます!



財政運営

府下1番の市税収入や40億円の基金(貯金)を活用して!

摂津市の市民1人当たり市税収入は、府下で一番。財政力を表す財政力指数も府下トップ。また、摂津市の基金(貯金)残高は、今年度末見込みで約40億円。

これらを活用すれば、所得減少、消費税増税など安倍政権の大負担増で苦しむ市民のくらしをもっと応援できます。

市税収入市民1人あたり(2012年度)

1位	摂津市	21万1648円
2位	泉佐野市	18万3812円
3位	高石市	17万8593円
4位	吹田市	17万3138円
5位	池田市	17万354円

税保険料

強引な取り立てはやめよ!

市税の差押えは、2008年191件から2012年には559件に、また国保料の差押えは、2009年0件から2012年は119件に。

市民生活の実態によりそった親身な相談と対応を求めました。

市有財産有効活用

市民の声を聞いて活かす努力を!

①旧三宅、旧味舌小学校跡地

廃校後も地域のコミュニティの拠点として活用が期待されている施設。旧校舎の有効活用の提案が市民から出されています。

②別府の市営住宅跡地・別府コミュニティーセンター構想

「売却せずに、跡地すべてを活用すべき」という市民の声に真摯に向き合うべきです。

中小企業支援

融資制度の拡充
住宅リフォーム助成、
家賃助成など

市内事業所数が減り続けています。中小企業の街にふさわしい直接的な支援が今こそ必要です。

投票所

廃止・統合計画は撤回を

狭くて投票の安全安心がはかれないとして、市内3か所の投票所を廃止する計画です。投票所が遠くなるデメリットをうみだす安易な廃止・統合は撤回し、安全な公共施設へ改修すべきです。

民間委託

ゴミ収集、給食調理業務は市の責任で!

街の環境保全や焼却炉の延命化に成果を上げてきたゴミ収集業務。今年から市域の7割の収集を民間会社に委託します。

食の安全と食育に責任を持つべき給食調理業務は、市内10小学校中、鳥飼西小・鳥飼北小・味舌小に今年摂津小が加わり4校が民間委託となりました。

どちらの仕事、職員も、市民生活に役立ち、災害など緊急時では大変頼りになります。経済効率だけでは安全安心は守れません。

中学校給食

2015年スタート
安全安心で
おいしい給食を!

市実施のアンケートで8割の保護者が「自校調理・全員給食」を望みました。ところが、来年実施されるのは、「デリバリー・選択制」です。

豊かな食育、安全・安心、温かくおいしい給食が保障されるのか、「デリバリー・選択制」の矛盾が浮き彫りになっています。

市民の願いが実った主な施策(新年度の主要事業より)

- 摂津小、三中、四中校舎の耐震補強等工事と別府小、一中、二中校舎の耐震化実施設計の実施。
- 災害等緊急時に活動する小型給水車の配備。
- 木造住宅耐震改修工事の補助金を30万円増額。
- 子育て総合支援センター遊戯室(旧三宅小体育館)に太陽光発電設備を設置。
- 私立幼稚園の就園奨励費補助金に多子世帯分を拡充。
- 幼児2人同乗用自転車の購入補助。
- 南千里丘と庄屋に新しく民間の保育所

- 開設を支援。
- 子育て応援広場、つどいの広場事業を拡充。
- 障害児保育をおこなう民間保育所等に市立児童発達支援センターから訪問指導を実施。
- 精神障害者の地域生活支援を拡充。
- いじめ防止対策の充実のためスクールソーシャルワーカーの派遣回数増。
- 教員資格を持ったスクールサポーターを各中学校に派遣。
- 児童センターの夏季(5~8月)開館時間を1時間延長。

- コミュニティプラザの利用受付を午後6時から7時に延長。
- 中小企業融資事業で女性、若者、シニアの起業に助成金。
- 3世代交流ができる体験型の市民農園を開設。
- 市内循環バスを十三高槻線正雀本町部分が供用開始されるのに合わせて正雀駅付近まで延伸。
- JR千里丘駅西口エレベーターの設置(10月ごろ供用開始)
- 南千里丘のモデルルーム跡地で出張消費生活相談や消費者セミナーを開催。

日本共産党が提出した「過労死防止基本法の制定を求める意見書」全会一致で可決!



1人で悩まず、何でもご相談ください

別府 2-22-22
(06)4965-4973



増永 わき

千里丘東 5-11-6-302
(06)6382-6301



ひろ 豊

正雀本町 1-3-7-203
(06)6381-7165



山崎まさかず

鳥飼野々 3-24-3
(072)653-0715



安藤かおる

昭和園 8-11-108
(072)634-0807



野口ひろし

毎月第3火曜日が法律相談です(弁護士が対応します)

あらかじめ議員までご連絡ください。